

Volunteer
Network

企業ボランティア

No.29

2016

平成28年6月

松江 ネットワーク会議

企業ボランティア
松江ネットワーク会議事務局
松江市千鳥町70 松江ボランティアセンター内
TEL 0852-27-8388 FAX 0852-24-1020

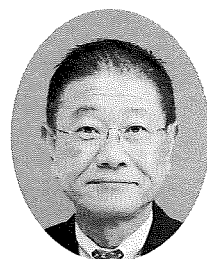


総会



街頭募金

熊本大震災をおもっ



企業ボランティア松江ネットワーク会議

副会長 内藤 允宏

今年度、松江しんじ湖ロータリークラブの会長として、企業ボランティア松江ネットワーク会議の副会長を務めさせて頂いております。

さて、四月に熊本県・大分県で相次いで最大規模「震度7」の地震が発生しました。国内で震度7を観測したのは、東

日本大震災以来と言う事もあり、現場は恐怖に包まれていました。日に何回も余震があり家に入れず、車の中で寝起き、避難所で不自由な生活を今も九万人の方が身を寄せておられます。又車中泊をしていた方が「エコノミークラス症候群」で市内の病院に搬送され死亡が確認されました。

観光においても、九州新幹線の脱線・高速道路の通行止め・熊本城の石垣、瓦の崩壊・水前寺公園の池の水が干上がり

閉鎖が続いており、阿蘇山もいつ噴火するかどうか心配になります。復帰には大変な時間と資金が必要と思われます。地震はどの学者にいわせても全く予測が来ないそうです。

しかしその中で特に消防団の活躍が素晴らしいです。自分自身も被害を受け、家族を守るのに必死であるのに、被害地の見回り・行方不明者の捜索など普段訓練しておかなければ出来ない事と申します。我が町内の消防団も見回り・点検・操作大会の出場など毎日のように機庫に電気がついております。

いつ起こるか分からない災害に対して、彼らは日頃訓練しているのです。こういう若者を我々は応援しなければならぬと思います。

熊本地震災害への支援活動紹介

(一社) 日本自動車連盟島根支部

この度の地震発生に際し、ロードサービス隊隊長の呼びかけにより、支部職員ならびに関連事業者の有志から義捐金を募り、松江市社会福祉協議会を通じて寄付いたしました。

JAF全体としては、地震発生直後よりJAF熊本支部はもとより九州、中国、四国、関西の各地方本部より特別支援隊述べ26名を順次派遣し、緊急車両の通行路確保に協力するほか、当該地域の被災車両について無料ロードサービスを提供しています。また、避難されている方々の車両について巡回無料点検なども行い、5月5日までに209台を点検しました。



JAFからのアドバイス

●災害発生時における自動車トラブルの特徴として以下のことが挙げられます。

- ① 災害発生直後は燃料の給油が困難となりガス欠になりやすい。
- ② 瓦礫が多数ある中を走行するためパンク、バーストが多発する。
- ③ 車内を避難場所として活用したり、電源として自動車を使用するためバッテリー上がりが起こりやすい。
- ④ 粉じん等が多いため、ウィンドウワッシャー液の減りが早い。
- ⑤ 予想外の場所で穴や段差、障害物が生じているため車体下回りを損傷するケースが多い。

JAFでは災害に備え、緊急避難場所の確認や非常食の準備等と共に、上記についても対応策を考えておくことをお勧めします。

中国電力株式会社

今回の熊本地震では、電力設備も甚大な被害を受け、47万戸超のお客さまが停電しました。

当社では、九州電力からの応援要請を受け、4月16日から5月1日の間、作業者や高圧発電機車などを熊本県内に派遣し、病院等を中心に停電復旧作業にあたりました。

派遣規模は、応援者が延べ約2,000人、高圧発電機車などの車両が63台です。このうち、松江営業所など県内の営業所からは、4月17日から4月28日の間、延べ約180人の応援者と、高圧発電機車を3台派遣しました。

カナツ技建工業株式会社

熊本地震の被害に遭われた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

弊社では、200万円をカナツ技建工業グループより、80万円をカナツ技建工業グループ役員より義援金として山陰中央新報社へ寄託いたしました。

また、支援物資としてトイレトペーパー、赤ちゃんのおしりふき等の生活物資をダンボール4箱、カップめん類等の食料品を段ボール7箱、全日本漁港建設協会を通じてお送りいたしました。被災地の1日も早い復旧を祈念いたします。

株式会社伸興サンライズ

発災後すぐに、島根県中小企業家同友会の会員経営者有志が、支援物資を運ぶ行動を起こされました。その際に、当社からは不織布マスクと災害備蓄用飲用水（緑の水）をお預けし、届けていただきました。

平成27年度事業報告

総会・記念講演会報告

平成27年度総会を9月15日(火)ホテル白鳥(鶴の間)において開催し、昨年度の事業及び決算報告、次に今年度の事業計画(案)並びに予算(案)について審議され、全員一致で承認されました。

総会に続き、演題「国宝松江城と城下町の魅力～松江城を攻めよう～」で記念講演会を開催。講師に松江歴史館専門官 穴道正年氏をお迎えし、松江城や松江の魅力について解りやすくユーモアを交えてお話しを頂きました。

その後、会員相互の情報交換を目的とした懇親会を行い、楽しいひと時を過ごしました。



懇親会



講演会

水燈路への協賛

国宝松江城周辺をライトアップする「松江水燈路」に、当会は平成21年から協賛しており、本年も“水の都松江の幻想的な夜のまちづくり”に協力いたしました。

【協力内容】

- ①手作り行灯コンテストにおける「企業VO松江ネットワーク会議賞」の設定
- ②手作り行灯コンテスト審査及び表彰式において本会賞の授与
- ③企業VO松江ネットワーク会議協賛行灯の設置



松江だんだん夏踊りの協力・協賛

松江市民が参加する夏の最大級イベント「松江だんだん夏踊り」が8月29日(土)に松江城周辺を会場として開催されました。平成27年度は松江城国宝指定を記念し、式典なども行われました。夜まで浴衣や法被姿で踊って街を練り歩き、松江城を身近に感じながら市民が一体となって取り組めるイベントとなりました。

本会議では会員各位に松江市の行事・イベント参加、協力、協賛の周知を行い、松江市の活性化に出来る限りの協力をしていきます。

赤い羽根共同募金運動に協力

平成27年10月1日実施

伝達式及び街頭募金活動へ参加いたしました。

当日は14社28名の会員が募金活動に協力、238,256円の募金が集まりました。



JR松江駅での街頭募金

・参加企業

ジラルタル生命保険(株)松江エリア、山陰テレビジョン放送(株)、(株)山陰合同銀行、(株)ワコムアイティ、(有)うなぎやくも、中国電力(株)島根支社、(株)赤徳商店、松江土建(株)、まるなか建設(株)、(株)玉屋、JAしまねくにびき地区本部、(福)湖北ふれあい、(株)コダマ、カナツ技建工業(株)

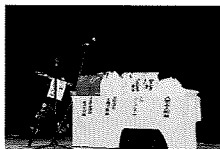
ご協力有難うございました。

第11回 松江市ボランティアフェスティバル 広げれボランティアの輪 『出会い・ふれあい・ボランティアの広場』

平成28年3月20日(日)松江市総合福祉センター(千鳥町)において開催し、約1,000名の参加者でにぎわいました。

当会議も主催団体としてスタッフに加わり、東日本大震災被災地支援の物品販売をしました。また、各企業へ福引きの景品提供についてお願い致しました。

このイベントを通し、沢山の子ども達の出演や、スタッフボランティアとして参加することでボランティアの輪を広げることが出来ました。



第67回歳末たすけあい 松江市民余芸大会への協力

毎年恒例の歳末たすけあい松江市民余芸大会が平成27年12月19日(土)島根県民会館で開催されました。当会議としてチケット販売に協力いたしました。

●入場券販売実績 128枚 230,400円

ご協力、大変有難うございました。

松江市への協力イベント紹介

2016松江だんだん夏踊り開催日決定！

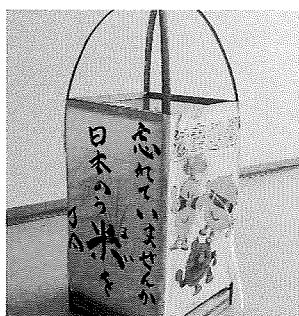
＜開催日＞ 平成28年8月27日(土)

＜場所＞ 松江城（馬溜）

＜時間＞ 12時～21時予定

皆さま、お誘い合わせのうえお出かけください。

最新情報は、松江だんだん夏踊り
Facebook をご覧下さい。



2016神在月 松江水燈路

松江城周辺をライトアップする「松江水燈路」は、今回で14回目。国宝松江城を中心として、10月の1ヶ月間、土・日・祝をメインに行われます。企業や市民が参加できる「松江らしさ」をテーマに描かれた行灯はあたたかな光で観光客をおもてなしします。

毎年、多くの市民が参加する手作り行灯コンテストに、本会議は優秀作品の表彰に貢献しております。

今年も、会員の皆様のご参加、ご協力をお願いします。

表彰式：10月1日(土)19:00～（会場：興雲閣）

《個人会員》

（平成二十七年七月）

平成二十八年六月まで

新規加入会員のご紹介

菅井美知子 様
石倉良美 様
竹内ひろこ 様
和泉府子 様

ボランティア活動保険のご紹介

ボランティア保険の手続きはお済みですか？

自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動であればどなたでも加入できます。ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償責任も補償します。

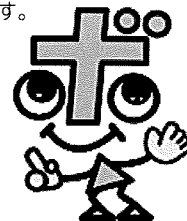
是非、安心して活動する為にもボランティア活動保険にご加入ください！

保険加入、ボランティアに関するご相談も随時受け付けております。

お気軽に下記センターまでご連絡下さい！

【お問い合わせ・お申し込み先】

松江市ボランティアセンター（松江市社会福祉協議会内）
松江市千鳥町70 松江市総合福祉センター2階
電話：0852-27-8388 FAX：0852-24-1020
E-mail：volunteer@shakyou-matsue.jp



障がいを知り、共に生きる “あいサポーター研修”をしませんか？

「あいサポーター」とは、特別な技術などを習得するのではなく日常生活の中で障がいのある方が困っているときに、ちょっとした手助けを行う人のことをいいます。

講師（あいサポートメッセンジャー）を派遣します。

- * 研修所要時間は、75分程度です。（時間数は調整可能）
- * 研修資料・パンフレット・バッジは準備いたします。
- * 開催に関わる経費は無料です。

【お問い合わせ・お申し込み先】

松江市ボランティアセンター（曳野・岩本）
松江市千鳥町70
TEL 27-8388 FAX 24-1020



認知症サポーター養成講座を 開催しませんか？

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かい目で見守る「応援者」のことです。

講師（キャラバン・メイト）を派遣します。

- * 講座の時間につきましては、ご要望に合わせて開催します。
- * テキスト・機材・用具等は準備いたします。
- * 開催に関わる経費は無料です。

【お問い合わせ・お申し込み先】

松江市社会福祉協議会 地域福祉課（星野）
松江市千鳥町70
TEL 24-5800 FAX 27-3789

